

No.11-106 第21回セミナー&サロン 開催報告
エネルギーの社会を支える環境・エネルギー技術—より良い地球環境の実現に向けた技術開発—を目指して

部門企画委員長 梅沢修一（東京電力）

2011年11月2日（水）、動力エネルギーシステム部門主催セミナー&サロンが株式会社東芝本社・東芝ビルディングで開催された。今回は、東日本巨大地震（M9.0）の影響で、開催が危ぶまれたが、関係者の努力によって無事開催することができた。現在の日本は、東日本巨大地震と大津波による福島第1原子力発電所の事故に直面し、ハッキリとしたエネルギーの将来像が見えない状況となっているが、部門としても将来の方向性を示すべく、「エネルギーの社会を支える環境・エネルギー技術—より良い地球環境の実現に向けた技術開発—」をテーマに、セミナーの部では現在最も注目を集めている3件の題目について、それぞれの第一人者によって講演頂いた。

まず日本原子力技術協会の石川迪夫様より福島第一発電所事故—国際感覚から見た日本」と題し、ご講演頂いた。原子力の情報公開の必要性、防災の重要性、事故収束への道筋等、示唆に富む講演であった。続いて、株式会社東芝電力システム社の風尾幸彦様に「火力、水力、再生可能エネルギー分野の技術動向」と題し、ご講演頂いた。火力・水力の高効率化、CCS、地熱発電等幅広い技術についてわかりやすく説明頂いた。最後に、株式会社東芝スマートコミュニティ事業統括部の篠原哲哉様に「東芝のスマートコミュニティ事業への取組み」と題し、ライフラインや交通のスマート化についてご説明頂き、将来像の一つの形を示して頂いた。全体に講演後の討議も活発で、時間は押し気味であった。

部門賞贈呈式では、森部門賞委員長の選考過程の説明のあと刑部部門長より、功績賞、社会業績賞、貢献賞、優秀講演賞、フェロー賞の贈賞がなされた。詳細は部門賞委員会報告に委ねる。

贈呈式のあと、渡邊部門企画委員の司会によりサロンの部が開かれた。会場を提供いただいた東芝を代表して執行役常務 前川治様の挨拶、筆者（部門企画委員長）の挨拶のあと、日本原子力技術協会 石川迪夫様の乾杯の音頭で歓談を開始した。貢献表彰、優秀講演賞、フェロー賞受賞者の挨拶に続き、恒例となった原口前部門長による手品も、今年度はリング系とスウォード系の2種類になった。

来年度の幹事会社である東京ガス株式会社 菱沼祐一様、次期部門長の株式会社 IHI 坂井彰様の挨拶で締め、盛況のうちに終えることができた。

セミナー&サロンは部門最大のイベントであると同時に、動力エネルギーに携わる研究者、技術者が集う絶好の機会であり、サロンでは楽しく交流がなされた。現在の日本は、エネルギーに関する多くの課題を抱えるが、今回の会合で、各人が思いも新たに、今後とも活躍されるものとする。

最後になりましたが、企画、運営で多大なるご協力を頂いた東芝の方々に深く感謝申し上げます。



日本原子力技術協会 最高顧問
石川 迪夫 氏



株式会社 東芝 火力・水力技師長
風尾 幸彦 氏



株式会社 東芝 統括技師長
篠原 哲哉 氏

セミナーの様子





藤井 真澄 氏 (功績賞)



久野 勝邦 氏 (功績賞)



村木 茂 氏 (功績賞)



藤井 照重 氏 (社会業績賞)



部門賞受賞者 全員



刑部 真弘 部門長



株式会社 東芝 執行役常務 会場提供者代表
前川 治 氏



東京ガス 株式会社 次回幹事会社代表
菱沼 祐一 氏



株式会社 IHI 技監 次期部門長
坂井 彰 氏



サロンの様子